

## 【ドイツ】SPD・緑の党・FDPの「信号連立」政権—2021年連立協定—

専門調査員 海外立法情報調査室主任 泉 眞樹子

\* 2021年12月に締結された連立協定は、今後4年間の立法計画を示すものである。気候変動対策、行政デジタル化、社会政策の刷新、イノベーション・投資の重視等が掲げられた。

### 1 3党連立の成立と閣僚人事

2021年9月26日の第20回連邦議会選挙<sup>1</sup>において、僅差でキリスト教民主同盟／キリスト教社会同盟(CDU/CSU)を抑え第1党となった社会民主党(SPD)は、同年12月6日に第3党の同盟90／緑の党(Bündnis 90/Die Grünen、以下「緑の党」)と第4党の自由民主党(FDP)と共に連立協定<sup>2</sup>に署名し、同月8日には、SPD党首オラフ・ショルツ(Olaf Scholz)を連邦首相とする連立政権が発足した。この連立政権は、3党のシンボルカラー(SPD:赤、FDP:黄、緑の党:緑)にちなみ、「信号連立」(Ampelkoalition)と呼ばれる。

連邦省の再編に関しては、連邦経済・エネルギー省が連邦経済・気候保護省に改組され、連邦内務・建設・国土省から建設分野を分けて連邦建設省が新設された。連邦大臣職は、SPDに7(首相、内務・国土、労働・社会、国防、保健、建設、経済協力・開発)、緑の党に5(外務、経済・気候保護、家族・高齢者・女性・青少年、環境・自然保護・原子力安全・消費者保護、食料・農業)、FDPに4(財務、司法、交通・デジタル、教育・研究)が配分された。

主な閣僚人事は、緑の党の共同党首ロベルト・ハーベック(Robert Habeck)が副首相と新たに設置された経済・気候保護相を兼任し、財務相はFDP党首のクリスティアン・リントナー(Christian Wolfgang Lindner)が、内務・国土相はSPDヘッセン州支部長で同州議会議員のナンシー・フェーザー(Nancy Faeser)が、外相は緑の党の共同党首アナレーナ・ベアボック(Annalena Charlotte Alma Baerbock)が務める<sup>3</sup>。閣僚16人<sup>4</sup>のうち、7人が女性である。

### 2 連立協定の概要と主な内容

連立協定は、「更なる進歩に踏み出す。自由、正義及び持続性のための同盟」と題され、公平な社会、持続可能性、自由という3党の理念が盛り込まれた(全9章177ページ。表参照)。

第I章「前文」は、コロナ・パンデミックを最重要課題とし、次いで、気候危機、ドイツと欧州の経済力の再確立、デジタル化、高齢化、多様性、民主主義等に言及する。主な立法計画としては、次が掲げられた。①国家の現代化・行政のデジタル化、②都市と農村の同等な生活環境(手頃な価格の住宅、医療、移動手段)、③気候危機対応(2015年パリ協定の目標達成)、④経済・技術のイノベーションの発展とそのための公正な競争・課税、⑤気候保護、デジタル化及び教育・研究に向けた公共投資確保や民間投資、⑥教育機会改善・労働人口増強・子供の

\* 本稿におけるインターネット情報の最終アクセス日は、2022年1月12日である。

<sup>1</sup> 泉眞樹子「2021年連邦議会選挙—SPDの勝利と緑の党の伸張—」『外国の立法』No.290-1, 2022.1, pp.12-15. <[http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_11976506\\_po\\_02900105.pdf?contentNo=1](http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11976506_po_02900105.pdf?contentNo=1)>

<sup>2</sup> „Mehr Fortschritt wagen; Bündnis für Freiheit, Gerechtigkeit und Nachhaltigkeit; Koalitionsvertrag zwischen SPD, BÜNDNIS 90/DIE GRÜNEN und FDP.“ Bundesregierung website <<https://www.bundesregierung.de/breg-de/aktuelles/koalitionsvertrag-2021-1990800>>

<sup>3</sup> 人名表記は、外務省「ドイツ連邦共和国基礎データ」<<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/germany/data.html>>による。

<sup>4</sup> 連邦大臣職を務める15人に、連邦首相府(Bundeskanzleramt)長官が加わる。

貧困対策・子供の権利、⑦最低賃金引上げ・男女同一賃金、⑧法定年金保険の基金強化・私的年金制度改革・基礎保障制度改革、⑨自由な多様性と民主的な社会的結束を支える法治国家・国民保護の堅持、⑩男女平等・多様な移民社会・差別のない社会の実現、⑪強い民主主義を実現するための多様な文化・自由なメディア及びボランティア・民主主義的参画の重視、⑫国際協力・EUの枠組みにおける外交政策の軸（平和・自由・人権・民主主義・法治国家・持続可能性へのコミットメント）と人道的な難民・移民の保護のための簡易な手続整備、⑬EUの戦略的主権の向上（価値観に合致した欧州共通の利益に基づく外交、安全保障、開発、貿易政策）。

表 2021年信号連立協定の目次

	章	中見出し
第I章	前文	
第II章	現代国家、デジタル覚醒及びイノベーション	「現代国家及び民主主義」「デジタルイノベーション及びデジタルインフラ」「イノベーション、科学、高等教育及び研究」
第III章	社会的エコロジカル市場経済における気候保護	「経済」「環境保護及び自然保護」「農業及び食料」「モビリティ（移動手段）」「気候、エネルギー、トランスフォーメーション」
第IV章	現代労働世界における敬意、機会及び社会保障	「労働」「社会国家（福祉国家）、高齢者福祉、基礎保障」「介護及び健康」「建設及び住居」
第V章	子供のための機会、強い家族及び生涯にわたる最良の教育	「全ての人への教育及び機会」「子供、若者、家族及び高齢者」
第VI章	現代民主主義における自由及び安全、平等及び多様性	「国内の安全、市民権、司法、消費者保護、スポーツ」「平等」「多様性」「文化及びメディア政策」「都市及び地方における良好な生活環境」
第VII章	欧州及び世界に対するドイツの責任	「欧州」「包摂、移民、難民」「外交、安全保障、防衛、開発、人権」
第VIII章	未来への投資及び持続可能な財政	
第IX章	政府及び議会会派の仕事のやり方	

（出典）„Mehr Fortschritt wagen; Bündnis für Freiheit, Gerechtigkeit und Nachhaltigkeit; Koalitionsvertrag zwischen SPD, BÜNDNIS 90/DIE GRÜNEN und FDP.“ Bundesregierung website <<https://www.bundesregierung.de/breg-de/aktuelles/koalitionsvertrag-2021-1990800>> を基に筆者作成。

### 3 具体的な立法計画

一部を紹介する。①石炭使用禁止：2030年期限への前倒し。②基本法（憲法に相当）改正：子供の権利の憲法への組み込み。平等待遇条項（基本法第3条第3項）における差別禁止理由への性自認追加と人種（Rasse）概念の置換え。③選挙制度改革：選挙法改正を初年に実現（連邦議会議員数の法定人数への抑制）。「連邦選挙法改革及び議会活動現代化のための委員会」再設置（男女平等議席の目標設定と法的枠組みの議論。選挙日程の統一、選挙期の4年から5年への延長、連邦首相の任期制限の検討。）。選挙権年齢の16歳への引下げ（欧州議会選挙。連邦議会選挙も）。④最低賃金：時給12ユーロ<sup>5</sup>への引上げ。⑤年金制度：制度安定のための基金設置と100億ユーロの予算からの拠出（2022年）。⑥成人の大麻使用合法化：認可された店舗販売と流通管理により、品質管理、汚染物質の流出防止、未成年保護を確保。合法化の4年後に社会的効果を評価。⑦債務規律<sup>6</sup>：2022年はコロナ危機による起債制限からの逸脱（例外措置）を継続し、景気回復に注力。2023年以降、規律遵守復帰目標。⑧移民制度刷新：人道的な難民・移民保護、国境を越えた労働力移動促進のための手続・移民法改革。

<sup>5</sup> 1ユーロは約130.0円（令和4年1月分報告省令レート）。

<sup>6</sup> 基本法（憲法に相当）第115条で義務付けられている財政収支均衡原則（GDPの0.35%の起債制限）。